

# 2026 年度 外国人留学生入試

## 日本語

### 【全学部】

志望学部・学科									
学部					学科				
受験番号					氏名				
				-					

◎ 問題 I, II の答えはすべて別紙の解答欄に書くこと

#### 問題 I 次の文を読んで、後の問いに答えなさい。(55 点)

みなさんはモチベーションと聞くと、どのようなものを思い (ア) 浮かべるでしょうか。仕事や勉強、スポーツや楽器の練習に対する意欲、「おいしいものを食べたい」「お金を稼ぎたい」という願望など、さまざまなものがあります。これらすべてを私たちは「モチベーション」と呼びますが、メカニズムはそれぞれ異なります。

モチベーションは一般に日本語で、「やる気」「意欲」「動機」といわれます。モチベーションが上がらないことは、誰でも経験があるでしょう。机の前に座った① (a. ものの b. からには) やる気が出ない、朝、仕事に行かなければいけないのに起き上がりにたくないといった悩みはよくあります。

2019 年に 20～30 代の日本人を対象に「はたらく価値観」に対して調査をしたところ、最も多い 46.5 パーセントの人が、仕事をするうえで優先しているものを「やりがい」と答えたそうです。このように、多くの人が仕事に関してお金だけでなくやりがいを同時に求めています。

お金に関するモチベーションは比較的みなが意識的に持ち、自分自身でも認識することが多いものです。「より多く稼ぐ」など目標も明確で、どの程度働けば目標が (イ) タッセイ できるかの目安もわかりやすいものです。

、やりがいというモチベーションは、意識的に「やりがいを (1) (持ちます… )」と思えばいつでも上がるものではなく、自然と高まっているものです。じつは、この「無意識的」なモチベーションが上がると、「意識的」な思考や行動も変わってくるのが研究によって示唆されています。

(中略)

無意識的なモチベーションが意識的な思考や行動に影響を与える② (a. コツ b. カギ) となる脳のメカニズムに、「統計学習」があります。

簡単にいえば統計学習とは、身のまわりで起こる出来事の統計的な確率を自動的に計算する脳のはたらきです。統計学習により私たちは、世の中に存在するさまざまな不確実な出来事の確率を計算し、その不確実性を下げることで、なるべく正確に未来を予測しようとしています。ふだんは意識していませんが、統計学習による「不確実性の減少」と「予測精度の向上」は、(あ) 私たちの生活にさまざまな貢献をしています。

たとえば、Aさんが通勤で利用するバスは毎朝8時になると近所のバス停に到着します。そのため、長年の経験によりAさんの脳の統計学習は、「平日の朝8時にバスが近所のバス停に到着する確率」を100パーセントとします（バスの遅延の確率は省略します）。

**B**ある朝、Aさんがいつものようにバス停に（2）（着きます…）たところ、その週から特定の曜日だけバスルートに変更があり、近所ではなく別のバス停に止まることが判明しました。それまで100パーセントで近所のバス停に来ると予測していたのと違うことが起きたため別の可能性が生まれて、「平日の朝8時にバスが近所のバス停に到着する確率」は100パーセントより低下します。「平日の朝8時にバスが別のバス停に到着する確率」が上がったからです。

このように脳の統計学習によって、私たちは「次にどんなことが、どのぐらいの確率で起こるか」を無意識的に予測できるようになり、予想外の出来事に適切な対応をしながら生きていけます。

**C**、統計学習により不確実性が下がり予測精度が上がると、脳は身がまえるべき情報にだけ注意できるようになり、無駄なエネルギーを使わなくて済みます。統計学習は脳の情報処理の効率性向上にも貢献しているのです。

「不確実性を下げて、予測精度を上げたい」というのが、脳の統計学習にとって基本となるモチベーションです。統計学習のシステムは人間だけでなく、サルや鳥、齧歯類<sup>げっし</sup>などのあらゆる動物の脳にも（ウ）ソナわっています。生物が生まれながらに持つ脳の本質的な学習システムともいえます。

統計学習による不確実性の減少や予測精度の向上は、「わかった!」という感覚につながり、脳の「喜び」となります。この喜びを「報酬」といい、報酬が多いほど統計学習のモチベーションが上がります。（中略）

統計学習によって得られる知識は、私たちがどのような環境に身を置いて、どのような情報を得ているかに依存します。日本に（3）（生まれます…）ば、意識的に日本語を学ぼうとしなくても幼児は自然と日本語を話すようになります。これもまわりの環境が日本語であるために、やる気や意識にかかわらず、環境に順応しようと脳が統計学習しているからといえます。

統計学習は、無意識的な学習（潜在学習）と（4）（呼びます…）られています。起きているあいだだけでなく、寝ているときでも（エ）絶えず行っており、生まれてから死ぬまでずっと続けている学習です。これは、学校などで行われる「学習」とは違います。学校などの学習が「意識的」に行われるのに対して、統計学習は、「無意識」のうちに脳が学ぶもので、得られた記憶も基本的には意識的に認識することはありません。たとえば、雨の日に雷が鳴る確率、地震のあとに電車が止まる確率が具体的に何パーセントかはわかりませんが、脳はそういった確率を過去の経験をもとにして「だいたい60パーセント」「半々くらい」などと（イ）に割り出しているのです。そのような脳の統計学習によって蓄積された記憶は、私たちがふだん（ウ）に行っている行動や判断に影響を与えています。

その例として、「プライミング効果」というのがあります。プライミング効果とは、直前に受けた刺激が、その後の行動に影響を与えることです。たとえば、喫煙者が「がん」という言葉を聞いたあとではタバコを吸いたいと思わなかったり、非喫煙者なら③（a. いっそう b. こっそり）副流煙を避けたりするようになります。テレビで交通事故の④（a. ニュース b. トピック）を見たあとは、いつも以上に慎重な運転になったり、乗るのを控えたりするでしょう。（中略）

このプライミング効果は、脳の統計学習でも起こります。統計学習によって得た、確率的に高い記憶に行動はつられてしまうのです。たとえば、私たちは会話中に相手のいうことを予測しながら聞いています。「ちょっといいかな」といわれると、無意識に耳を傾けます。それは、「ちょっといいかな」のあとに大事なことを告げられる確率が高いことを、長期的な経験を通して脳は統計学習してきたからなのです。このように、私たちは日常生活の多くを意識よりも無意識のうちに判断しています。（中略）

これらの無意識的な判断は、モチベーションにも影響を与えます。会話中に相手の顔がくもっていたら、「これからネガティブな話をするのだな」といった無意識的な判断によって、相手の言葉を聞く意欲が低くなります。モチベーションとは、必ずしも明確に意図や目標を持つことで上がるのではなく、むしろ私たちの無意識的な判断が影響を与えていることが多いのです。

(大黒達也, 2023, 『モチベーション脳』, NHK 出版新書より一部改変)

問1 (ア) ~ (エ) のカタカナを漢字に、漢字をカタカナに直しなさい。

(ア) 浮 (イ) タッセイ (ウ) ソナ (エ) 絶

問2 、、に入る最も適切な言葉を次の a, b, c, d の中から選んで記号で書きなさい。

a. また b. あるいは c. 一方で d. ところが

問3 (1) ~ (4) の中の言葉を適切な形に変えなさい。

問4 ①~④に入る最も適切な言葉を、a, b から選んで記号で書きなさい。

問5 (あ) 「私たちの生活にさまざまな貢献をしています」とあるが、私たちの生活における利点について述べている箇所を 25 文字で本文中から抜き出しなさい。

問6 下線部 ( い )、( う ) には、「意識的」または「無意識」のどちらかが入るが、適切な言葉を書きなさい。

問7 モチベーションを高めるにはどのようにしたらよいか。本文中の言葉を用いて 60 字以内で述べなさい (句読点記号を含む)。

問題Ⅱ 次の文を読んで、後の問いに答えなさい。(45点)

問1 次の文の\_\_\_\_\_にはどのような言葉を入れたらよいか。a, b, c, dの中から最も適切なものを一つ選んで記号を書きなさい。

(1) 彼とは学生時代からの付き合いで、今も家族\_\_\_\_\_で仲良くしている。

- a. だらけ      b. まみれ      c. ぐるみ      d. ばかり

(2) 大切な試験なので1分\_\_\_\_\_時間をむだにすることはできない。

- a. ならでは      b. ばかりか      c. ともなく      d. たりとも

(3) 彼\_\_\_\_\_、それがなぜいいのか理解に苦しむものだった。

- a. において      b. にしたら      c. にかかわらず      d. にたいして

(4) 緊張の\_\_\_\_\_、覚えていた言葉を全て忘れてしまった。

- a. あまり      b. おかげで      c. わりに      d. 一方

(5) あの映画は見る\_\_\_\_\_暴力場面が多く、途中で見るのをやめたくなった。

- a. にたりない      b. にかたくない      c. にかかせない      d. にたえない

問2 次の文の\_\_\_\_\_にはどのような文を入れたらよいか。文を書きなさい。

(1) ストレスがたまって、\_\_\_\_\_ずにはいられない。

(2) \_\_\_\_\_をめぐって、様々な意見が出ている。

(3) 彼は社長という立場にあって、\_\_\_\_\_。

(4) \_\_\_\_\_にかこつけて\_\_\_\_\_。

問3 次の言葉の使い方として最もよいものを、a, b, cの中から一つ選んで記号を書きなさい。

(1) とりわけ

- a. ケーキを作るとき、とりわけバターを入れて牛乳も入れる。
- b. 今年の夏はとても暑かったが、とりわけ昨日は暑かった。
- c. 彼は勉強がとても好きで、とりわけ毎日学校に行く。

(2) みぐるしい

- a. 文字が小さくてみぐるしい資料になってしまった。
- b. そんな言い訳をするなんてみぐるしい人だ。
- c. とてもみぐるしい味で食べることができなかった。

(3) かせぐ

- a. 彼の発言は他の人の信頼をかせいだ。
- b. 毎日練習して力をかせごうとしている。
- c. 時間をかせぐために、雑談を始めた。

(4) 頭を抱える

- a. 仕事上のトラブルが多すぎて頭を抱えている。
- b. ドライヤーで髪を乾かすために頭を抱える。
- c. 友だちに会えたのがうれしくて頭を抱えた。

(5) コンセプト

- a. できたばかりのコンセプトが壊れてしまった。
- b. 流行が変わったので、コンセプトを買い替える。
- c. 新しい製品のコンセプトを考える会議を行った。